

第 38 期事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日より令和 6 年 3 月 31 日まで)

I 施設利用状況

当期における区民健康村施設利用者数は延べ 64,163 人で、施設利用全体としては前期比 7,870 人増加し、増加率は 11.4% となりました。なお、一般利用者は、ふじやまビレジは前期比 2,306 人の増加、なかのビレジでは 1,920 人の増加となりました。また、川場移動教室も 1 泊 2 日で行われ、延べ利用は 13,883 人となりました。

健康村利用者の獲得に向けた取り組みでは、世田谷区内での川場村物産販売もほぼ通常開催に戻り、当期は 39 会場 57 回に渡り新鮮な農産物の販売及び川場村の魅力を整理したチラシの配布など PR に努めてまいりました。そのほかホームページや SNS を通じて、四季折々の美しい風景や区民村民の交流事業の様子など積極的な紹介を行ってまいりました。なお、インスタグラムでは英語表記の試みも実施し、幅広い利用者層獲得に努めております。

前期では、新型コロナウイルス感染症対策として、外来入浴利用の制限を行っていましたが、5 類感染症移行後、川場スキー場とも連携し、当期利用者の増加に努めてまいりました。

当期利用者数及び前期利用者数との比較 表—1

		前期 (令和 4 年度)	当期 (令和 5 年度)	比較増減
利用者数		56,293 人	64,163 人	7,870
内 訳	一般利用者	37,716 人	41,942 人	4,226
	移動教室	14,310 人	13,883 人	-427 人
	日帰り利用	4,267 人	8,338 人	4,071

II 事業の概要

1 事業の経過及び成果

(1) 施設運営維持管理事業

施設運営維持管理事業については、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後における施設利用は、新しい日常を確立した中で利用者にご案内をさせていただ

いております。また、建物の安全性や諸設備についても機能や能力を十分発揮できるよう法定点検や日々のメンテナンスを行い、快適な利用環境を維持しております。

サービス向上の取り組みでは、利用者が快適に過ごせるようアンケートや公募による宿泊モニタリング調査の実施によるニーズの把握や対応の整備を行ってまいりました。また、民間調査会社による客観的な社員のサービススキルの検証を実施し、社員のサービスに対するスキルアップを図り、さらに、各営業所間の効果的な人員配置による社員の業務能力向上に努めるなどサービス向上を図ってまいりました。

ふじやまビレジでは、施設老朽化に伴う計画的な改修が行われており、当期については、温泉館通路や工房の空調の整備を実施してまいりました。また、季節を楽しめる外構景観の整備や館内演出等により、利用者にご満足いただける快適な空間を提供してまいりました。なかのビレジでは、WI-FI 環境も整えられ、多様なニーズにお応えできるようになり、ラウンジ及び風呂場脱衣室、森のむらの空調等の整備を実施してまいりました。さらに地域住民との協働による山林環境整備を継続しつつ、森のむら周辺における 40 周年記念事業において始められた「友好の小径」の整備を行い、移動教室での散策等の活用を行ってまいりました。

なお、移動教室以外でも一般利用者を対象とした里山体験メニューも好評を得ております。また、「森のむら」を活動拠点とする森林保全ボランティアグループの活動も継続的に利用されており、地域との援農活動や友好の森等での活動などを行っております。

環境に配慮した取り組みとして、電気及び重油使用料の削減に努め、省電力タイプ設備への変更や木質バイオマスボイラーの安定稼働を維持する為の工夫など、引き続き実施しつつコスト削減を行っております。

(2) 川場村運動公園施設運営維持管理事業

てんぐ山運動公園の管理運営は、美しい天然芝、雑木林の散策道、自然の河川を利用した鱒のつかみ取りの池など多目的機能を有した運動公園であり、スポーツやレクリエーション空間として、野球やサッカーを中心に区民と村民に幅広く利用されております。

競技場としての安全管理はもとより、利用の充実に努め、当期の利用実績として区民 2, 261 人、村民 824 人の合計 3, 085 人となり、前期との比較で 766 人の増加となっております。また、里山に囲まれた快適な環境として、散策や学校教育プログラムのフィールドとしても広く活用されております。

(3) 森の学校運営維持管理事業

森の学校運営維持管理事業では、安心して快適な施設を維持するために清掃業務を実施し、周辺の外構整備と併せて環境の保持に努めております。また、様々な環境調

査で蓄積された記録をベースとし、室内展示のほか移動教室児童を含む施設利用者向けに友好の森での自然解説を実施し好評を得ております。さらに、当期は、今まで蓄積された記録を区民・村民に還元すべく、区内大学研究室の協力の下、両ビレジにて川場村の野生動物の動画映像を公開し、利用者から好評を得ております。

（４）移動教室運営事業

移動教室運営事業では、世田谷区学務課および学校と連携し、安全な活動に配慮した受け入れを実施してまいりました。特に野外活動場所の危険箇所点検や遊歩道の草刈りなど、学校教育として有意義な移動教室となるよう整備を行ってまいりました。また、弊社から提案する「地域・環境学習プログラム」は、毎年多くの学校にご利用いただいております。天候などでやむを得ずプログラムの変更等になった場合も柔軟に対応できるよう雨天対応プログラムを複数用意しております。さらに、「焚火で焼き芋・焼きりんご」や「川場材のバードコール」など短時間のプログラムを用意し充実に努めているところでございます。

移動教室給食賄提供業務では、川場村の良質な食材をできる限り取り入れ魅力ある食事提供を実施してまいりました。また、学校との綿密な確認を行い食物アレルギー対応にあたってまいりました。食品衛生管理については、従事者による勉強会を定期的に行い安全な食事提供に努めております。

（５）一般賄事業

区民健康村施設の食事提供および川場村内におけるレストラン運営では、不安定な社会情勢により原材料の価格高騰が続いている状況であることから、仕入食材等の動向を確認しながら価格設定の見直しを実施しております。今後もそうした状況の出口が不透明なことから引き続き注視してまいります。

当期は、休止していた朝食バイキングの提供を開始し、地場産物を活用した自家製パンの提供や、衛生管理等を踏まえた什器の見直しなどを行ってまいりました。なお、地域食材の活用は弊社としての責務と同時に、利用者ニーズにお応えする上で欠かせないことから、生産者の理解と協力を得ながら季節の特色ある旬の食材提供を行ってまいりました。また、過去に提供した料理内容や利用者アンケートを参考に、年４回の季節の献立変更を実施しております。さらに、幅広い食事の選択ができるよう、ワンランク上の充実食やさくら川会席などの提供も引き続き実施しており、大変好評を得ております。

川場田園プラザでのレストラン運営では、できるだけ地域の生産者へ足を運び、野菜の直接仕入れに努めております。当期は、旅行会社による団体予約のほか地域の宴会も多く、また、村民向け宅配サービスなども引き続き実施するなど、地域と密着したレストランとして定着しております。さらに当期は、観光庁の補助金を受け、閑散

期の間レストランの改装を行い、メニュー変更と合わせ利用者ニーズにそった魅力的な店舗にリニューアルいたしました。

ピザハウスについては、感染対策として各テーブルに設置したアクリル板等も撤去し席数を増加することで、より多くの方に利用いただけるようになりました。

なお、食材における川場村産チーズをはじめ、地域食材を積極的に活用し定期的なオリジナルピザの開発を、引き続き実施しております。そのほか、店内の質感を高める上で掲示物等デザインの見直しや、食券販売機を電子決済可能なタイプに変更を行い、より利用しやすい環境を整えました。

川場村の伝統家屋における民家レストランの運営では、ブランド米として人気の高い「雪ほたか」の炊き立てをお楽しみいただける直火炊き釜めしなど、野菜を中心としたメニューの提供を行ってまいりました。

(6) 川場村学校給食調理事業

川場村学校給食調理事業では、より高度な食品衛生管理が求められることから、学校給食衛生管理基準を基本とした安全で安心な給食調理に努めております。また、地域食材の活用を行うことは、食育や地産地消の面から大変重要であるため引き続き推進してまいります。

(7) 売店経営事業

売店経営事業では、地域特産の販売店として、川場村をはじめとする群馬県内などで生産される加工食品等を販売し、あわせて生産者が直接販売する地元野菜など朝市を実施しております。また、川場村産の人気商品については、区内出店販売などでも販売を行っており、より多くの区民の方々にお届けできるよう努めております。さらに、屋内外のラウンジ販売として地域の果実を活用したフレッシュジュースなどの販売を行い、利用者に楽しんでいただいております。

「せせらぎの湯」における外来入浴の運営では、高品質の施設と源泉かけながしの温泉の魅力のPRに努め、村民を含めた地域からも高い評価を得ております。

(8) 交流事業

健康村里山自然学校では、学識者、地元有識指導者、地権者、地域の団体、専門の技術者、各大学学生など多岐にわたる方々の協力を得て、区民・村民の交流を行っております。この事業は、全国の中でも都市と農村の交流のパイオニアであり、永きにわたる信頼と実績を有している事業となっています。主に森林、草地、田畑を背景とした里山と人との関わりを学びながら、環境保全や地域の活性化に向けた活動を展開し、学識者や技術指導者の方々の分かりやすい紐解きにより区民・村民から大変意義のある活動であると評価を得ております。なお、この里山自然学校では、小さなお

子様を抱えるご家族、小中高校生、社会人や現役引退世代を含め、あらゆる世代に対応するコースを設定しており、多様な参加者への対応に努めております。

また、当期においては、交流事業の修了者を対象に構成される里山自然学校サポーターの方々を中心に、獣害対策のフェンス設置や村の催事など住民主体の活動へ繋ぐ取り組みを充実させてまいりました。そのほか、地域の郷土料理や伝統文化に長けた方や農学的専門知識を有した方を新たに地元指導者に迎え、より幅広い対応を実施してまいりました。

里山塾では、里山保全の基本を学ぶ「おとなの里山コース」、里山体験を主体とした「親子里山体験コース」と、新たに里山保全の内容を掘り下げていく為に、茅葺屋根の伝統技術などを学ぶ「茅葺きコース」の設定をさせていただきました。また、夏冬の年2回行われる小学5・6年生を対象とした「こども里山自然学校」、中学・高校生を対象にした「川場まるごと滞在記」では、里山体験活動や保全活動、農家のお手伝いなどを体系的に展開しております。

農業塾では、川場村で生産される農作物を主体とした圃場づくりなど、学識者である塾長をはじめ、地元指導者から川場流農業を学ぶ年間コースとして開催しております。また、特別実施会として「手づくりによる地味噌づくり・豆腐づくり」を実施したほか、農業塾修了者の方々については、川場村の指導者との自主的な交流が継続的に行われております。

このほか、手づくりそばの会、棚田オーナー制度、木ごころ塾、フライフィッシングスクールなど多種多様な交流事業を実施しております。さらに、一般利用者を対象とした気軽に川場村を楽しむ事ができるオプションイベントについては、年間平日、休日問わず実施し、幅広い層から好評を得ております。

(9) 再生可能エネルギー供給事業

再生可能エネルギー供給事業として、ふじやまビレジにおいて間伐材等のチップ材を燃料とした「木質バイオマスボイラー」の運転を行っております。なお、燃料高騰に伴う削減策としても十分に燃料消費量を抑えることができ、環境配慮の取組として成果を上げております。

また、ウッドチップについては、川場村内にある株式会社ウッドビレジ川場が生産しており、地域内での流通を行うことで、効率的なCO2削減に努めております。さらに、こうした取り組みを区民健康村の姿勢として実施している事を広く区民に知っていただくために、川場移動教室時における紹介や、世田谷区職員研修等において山林作業で搬出された材をウッドチップとして活用することなどを説明してまいりました。

2 対処すべき課題

利用者における自然体験や農山村活動への期待は、今後より一層増加する傾向にあります。そうしたニーズにお応えする上で、労働者不足という懸念は当然弊社にも深く関係してくる状況にあります。現在の事業運営では、人員を効率的で効果的に、かつマルチに対応できる社員を配置しており、特に弊社の特徴でもあるガイドも対応可能な社員として、川場村の自然や文化の魅力を習得させるなど、段階的な指導育成にも努めております。

また、交流事業については区民と村民とのより一層の関係性を深める上で、信頼を強固なものにしていかなければなりません。今後は、里山自然学校サポーター制度をはじめとする、両住民の交流の場をさらに広げ、住民主体の事業の充実を進めてまいります。

こうした課題の対処を踏まえ、利用者の要望に対する情報収集を積極的に行い、快適にお過ごしいただけるよう質を高めたサービス対応に努めてまいります。

3 事業別実績、財産及び損益の状況

単位：千円

区 分	前 期 (令和4年度)	当 期 (令和5年度)
施設運営維持管理事業	365,582	371,156
川場村運動公園施設運営維持管理事業	8,496	8,496
森の学校運営維持管理事業	1,019	1,019
川場村学校給食調理事業	21,582	21,582
利用料収入	46,793	55,002
移動教室運営事業	973	964
移動教室給食賄事業	8,178	8,699
一般賄事業	228,845	258,038
売店経営事業	23,957	29,526
交流事業	29,592	32,067
その他の収入(手数料)	1,004	719
売上高合計	736,026	787,272
経常利益	-6,478	7,868
当期純利益	-4,413	-8,473
1株当たりの当期純利益	-5,516円37銭	-10,591円52銭

注：千円未満切り捨て

4 従業員の状況

令和6年3月31日現在

使用人数		平均年齢	平均勤続年数
男性	26名	38歳	15年
女性	6名	27歳	6年
合計	32名	36歳	13年

III 会社の概要

1. 主要な事業内容

- (1) 世田谷区民健康村施設の維持管理及び運営事業
- (2) 川場村スポーツ・レクリエーション施設の管理運営事業
- (3) 宿泊に関する事業
- (4) 食堂及び土産品売店の設置経営
- (5) 地場農林畜産物及び同加工品の販売ならびに仲介斡旋
- (6) 旅行業ならびに旅客及び貨物自動車運行事業
- (7) 再生可能エネルギーの研究、開発、供給、販売に関する事業

2. 株式に関する事項

(1) 株式の状況（令和6年3月31日現在）

- ①発行可能株式総数 1,600株
- ②発行済株式の総数 800株
- ③株主数 2名

株主名	当社への出資状況	
	持ち株数	出資比率
世田谷区	600株	75%
川場村	200株	25%

貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日現在)

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	283,029,905	流動負債	82,404,534
現 金 ・ 預 金	199,175,357	買 掛 金	10,740,043
売 掛 金	13,096,853	未 払 金	30,136,947
賄 材 料	9,317,068	未 払 法 人 税 等	101,800
商 品	1,966,023	未 払 消 費 税 等	12,242,800
貯 蔵 品	2,222,669	賞 与 引 当 金	9,800,617
未 収 入 金	56,331,217	預 り 金	5,884,313
立 替 金	68,214	そ の 他 の 流 動 負 債	1,486,014
仮 払 金	852,504	短 期 借 入 金	12,012,000
固定資産	196,354,617	固定負債	135,369,443
有形固定資産	113,504,628	退 職 給 付 引 当 金	87,752,363
建 物	42,767,394	リ ー ス 債 務	2,985,180
附 属 設 備	7,996,383	長 期 借 入 金	44,631,900
構 築 物	6,058,973	負 債 合 計	217,773,977
機 械 装 置	18,417,210	(純資産の部)	
車 両 運 搬 具	4	株主資本	262,269,879
工 器 具 備 品	24,228,808	資本金	40,000,000
一 括 償 却 資 産	517,864	利益剰余金	222,269,879
リ ー ス 資 産	2,677,800	利 益 準 備 金	10,000,000
土 地	10,840,192	そ の 他 利 益 剰 余 金	212,269,879
投資等	82,849,989	別 途 積 立 金	50,000,000
投 資 有 価 証 券	16,400,000	繰 越 利 益 剰 余 金	162,269,879
保 険 積 立 金	66,383,369		
自動車リサイクル料預託金	36,620		
出 資 金	10,000		
預 け 金	20,000		
繰延資産	659,334	純 資 産 合 計	262,269,879
施 設 調 査 費	659,334		
資 産 合 計	480,043,856	負債及び純資産合計	480,043,856

損 益 計 算 書

令和5年4月 1日より
令和6年3月31日まで

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	787,272,446	
売 上 高 合 計		787,272,446
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	10,499,710	
当 期 商 品 仕 入 高	171,147,702	
合 計	181,647,412	
期 末 商 品 棚 卸 高	11,283,091	
売 上 原 価		170,364,321
売 上 総 利 益		616,908,125
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計	618,099,706	618,099,706
営 業 利 益		-1,191,581
【営業外収益】		
受 取 利 息	3,447	
受 取 配 当 金	300	
雑 収 入	9,822,429	
営 業 外 収 益 合 計		9,826,176
【営業外費用】		
支 払 利 息	766,057	
営 業 外 費 用 合 計		766,057
経 常 利 益		7,868,538
【特別利益】		
補 助 金 収 入	7,617,555	
特 別 利 益 合 計		7,617,555
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	104,177	
役 員 退 職 慰 労 金	17,745,500	
固 定 資 産 圧 縮 損	5,905,555	
特 別 損 失 合 計		23,755,232
税 引 前 当 期 純 利 益		-8,269,139
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税		204,080
当 期 純 利 益		-8,473,219

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月 31日
(単位:円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		利益準備金	その他利益剰余金				
							別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	170,743,098	230,743,098	270,743,098	270,743,098	
当期変動額											
新株の発行											
剰余金の配当											
利益準備金の積立											
別途積立金の積立											
当期純利益							△ 8,473,219	△ 8,473,219	△ 8,473,219	△ 8,473,219	
当期変動額合計							△ 8,473,219	△ 8,473,219	△ 8,473,219	△ 8,473,219	
当期末残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	162,269,879	222,269,879	262,269,879	262,269,879	